

平成30年7月19日

学長選考基準

奈良教育大学学長選考会議

I. 次期奈良教育大学学長に求められる資質・能力、取り組むべき課題

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究することにより、豊かな人間性と高い教養を備えた人材を育成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命としている。この基本理念を高度な教員養成・研修を通じて実現するため、次期学長には、本学が進めてきた改革を継承するのみならず、大学の将来像と在るべき人間教育を含む基本的なビジョンの策定や奈良県教育委員会等との連携協働を軸として、改革をなお一層推進することができる高い見識と強力なリーダーシップが必要である。次期学長に求められる資質・能力、取り組むべき課題は以下のとおりである。

1. 資質・能力

- ① 人格が高潔で、学識に優れ、かつ、高等教育の源泉である研究活動を重視し、教員養成大学である本学の教育活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有すること。
- ② 本学の基本理念を実現するためのビジョンを持ち、それを教職員に浸透させるためのコミュニケーション能力及びそれを実現させるための決断力・実行力・忍耐力を有すること。
- ③ 本学の最終責任者として教職員を指揮監督する自覚と強力なリーダーシップを有すること。
- ④ 国内外に本学の存在感を示すための発信力を有すること。

2. 取り組むべき課題

- ① 第4期を見据えた形での大学の将来像と、在るべき人間教育を含む基本的なビジョンを策定すると共に、厳しい財政状況を踏まえ、経営基盤を強化すること。
- ② 教育の基盤となる知そのものの創出としての研究、教育の発展に資する研究の成果に基づいた教育及び実践的活動、多数の世界遺産を有する奈良の地に根ざした個性ある学際的教育研究などをいっそう深化・発展させていくこと。
- ③ 自ら課題を発見し、それを解決する能力を持ち、生涯にわたって学び続ける姿勢を維持しつつ、実践的指導力とグローバルな視野を備え、新たな学びに対応できる教員を養成すること。
- ④ 教育委員会や連携協力校等と協力しながら、教育大学の特色を生かした現職教員研修をはじめとする地域への貢献を推進すること。

- ⑤ 教員養成大学としての研究の質の向上を図り、研究の活力を発展させるため、研究実施体制を整備すること。
- ⑥ 海外の協定大学等との間での留学生の派遣や受け入れ等を通じて、グローバルな視野を持つ教員の育成を図ること。
- ⑦ 大学の方針のもと、附属学校園における教育実践の充実、教育環境の整備及び教育実習校としての機能強化を図ると共に、附属学校がモデル校として公立学校における実践的課題に取り組むことを推進すること。

Ⅱ. 学長選考手続き

奈良教育大学の現学長の任期が平成31年3月31日をもって満了することに伴う次期学長候補者の選考手続きは、以下のとおりです。

平成30年8月9日(木)	選考日程及び次期学長像の公示 学長選考会議委員への推薦依頼、意向聴取有資格者7名の連署による推薦を依頼
平成30年9月27日(木) ～	学長候補適任者の推薦の受付
平成30年10月3日(水)	
平成30年10月29日(月)	学長候補適任者の所信表明等締め切り
平成30年10月30日(火) ～	学長選考会議における学長候補適任者の絞り込み
平成30年11月7日(水)	
平成30年11月8日(木)	所信及び回答書の公表、意向聴取実施の公示
平成30年11月22日(木)	意向聴取の実施
平成30年11月26日(月) ～	学長選考会議における学長候補者の決定 学長候補者決定の学長報告及び公示
平成30年12月13日(木)	
平成30年12月14日(金)	学長就任交渉、次期学長の決定

【関係規則等】

- 国立大学法人奈良教育大学学長選考会議規則
- 国立大学法人奈良教育大学学長選考規則

【お問い合わせ先】

奈良教育大学企画連携課（担当者：及川 善博）

TEL:0742-27-9312

E-mail:kikakugr@nara-edu.ac.jp